



北海道みらい事業

第9回

2018年11月16日[金]

時間 18:00~20:30

会場 札幌国際ビル8F 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 地下鉄さっぽろ駅8番出口直結

参加費 無料(定員120名) ※要事前申し込み・先着順

活動団体発表

- ・阿寒湖のマリモ保全推進委員会(釧路市)
- ・石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市)
- ・一般社団法人天売島おらが島活性化会議(天売島)
- ・羽幌みんなでつくる自然空間協議会(羽幌町)
- ・北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローカルアクションプロジェクト(北見市)
- ・北海道大学総合博物館 昆虫ボランティア 水生昆虫グループ(札幌市)
- ・北海道七飯高等学校 科学部(七飯町)
- ・宮島沼の会(美瑛市) ※五十音順

基調講演 「マリモからみた北海道の水環境」



講師：若菜 勇氏(わかな いさむ)

釧路国際ウェットランドセンター 阿寒湖沼群・マリモ研究室室長
北海道大学大学院地球環境科学研究院客員教授

100近い湖沼が点在する北海道。そのいくつかのマリモが分布し、阿寒湖にだけ球状のマリモが群生しています。なぜマリモの生育は限られるのか。同じ生物なのに、なぜ阿寒湖でのみ球化するのか。そして、ほとんどの湖沼でマリモが姿を消す中、なぜ阿寒湖で残存できたのか。こうした問いに答えつつ、得られた研究成果から北海道の水環境の「いま」を考えます。

プロフィール

岩手県花巻市出身。北海道大学大学院理学研究科修了(理学博士)。絶滅が危惧される特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の保全対策を確立すべく、1991年から阿寒町教育委員会および釧路市教育委員会で研究・教育活動に従事し、2012年に「マリモ保護管理計画」を策定。2018年から現職。「マリモはみんなで守る」をモットーに、国内外の多くの共同研究者や市民ボランティアとともに世界各地のマリモ湖沼を踏査して生態の解明につくす一方、普及啓発にも取り組んでいる。

参加
プレゼント!

ご参加いただいた方に「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザイン＆「いろはす」をプレゼント!

※「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売り上げの一部は「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されています。



北海道の水環境を守る活動に取り組んでいる支援団体の活動報告を行うとともに「阿寒湖のマリモ」の保全対策などに取り組んでいる若菜 勇さんに水環境保全の視点からご講演をいただきます。

北海道e-水フォーラム

<お申込み・お問合せ先> 公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局

TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812 E-Mail emizu@heco-spc.or.jp

※FAX、E-Mailの方は、お名前(ふりがな)、ご所属、お電話番号をお知らせください。いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団

北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。

北海道e-水プロジェクト

